

部課名		いきいき生活部いきいき総務課											
課の使命		○高齢者やその家族等が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられるように、介護サービスの基盤整備や高齢者施設の管理・運営、介護人材の確保・育成・定着の支援、災害時の要配慮者支援等を推進します。 ○いきいき生活部の総務担当課として、部の仕事の運営と進捗を管理します。また、庁内外との調整機能を果たし、円滑な業務遂行を目指します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	介護人材の確保・育成・定着	求職・求人アプリなどのICTを活用した相談、面接会や就労相談会、研修等を通じて、介護人材バンクによる市内介護事業所への就労マッチングを推進します。 また、介護職員初任者研修と介護職員実務者研修の受講を支援することにより、新たな介護人材の確保と既に介護事業所等で働いている職員のステップアップ支援に取り組みます。	①介護人材バンクによる就労人数 ②資格取得者数(研修修了者数)	①75人 ②90人								
2	重点 事業 プラン	介護のしごと魅力発信	新たな介護人材の確保や、既に介護事業所等で働いている職員の定着につなげることを目的として、広報動画を活用し、介護の仕事の魅力を発信します。 さらに、FC町田ゼルビアと連携して、より幅広い層に対して、介護の仕事の魅力を発信する取組を実施します。	①介護の仕事魅力発信動画公開数 ②FC町田ゼルビアと連携した取組件数	①2本 ②1件								
3	-	ふれあい館事業の推進	市内6か所のふれあい館で、「介護予防・健康づくり」に関連したイベントや講座等の開催や、関係団体と協働・連携した取り組みを行うことで、利用者が満足していただける施設づくりを推進します。	ふれあい館利用者アンケートで、「満足」・「やや満足」と答えた方の割合	95%以上								
4	個別 計画	次期いきいき長寿プランの策定	2025年度に実施した市民ニーズ調査・事業所調査の結果等を踏まえ、「(仮称)町田市いきいき長寿プラン27-29」を策定します。 本プランは従来からの「町田市高齢者福祉計画」と「町田市介護保険事業計画」に、2024年1月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に基づく「認知症施策推進計画」を加え、3つの計画を一体的に策定します。	計画の策定	策定完了								
5	事務 直 し 事業 見	課の事務事業見直し	スマートフォンからホームページを閲覧する方が多数であることを踏まえ、スマートフォンでの見え方を意識したホームページの内容の見直しを実施します。	事業見直しの実施	実施								
6	人材 育 成	「チャレンジ志向」	DXの知識向上や技術活用方法の習得を目的とした課内研修を実施します。	実施回数	2回								
7	全庁 で 取 組 む 施策	「シティプロモーション」	市内外の多くの人が市の高齢者施策に関して興味や関心を抱き、市を訪れる人、住む人や働く人が増えるよう、市内で活動する高齢者団体のPRや介護の仕事の魅力を紹介等の情報発信に取り組みます。	プレスリリース件数	2件								

部課名		いきいき生活部保険年金課											
課の使命		・市民の身近な窓口として、国民健康保険・後期高齢者医療及び国民年金に関する相談に対し、正確でわかりやすいご案内、手続き業務を提供します。 ・被保険者の健康の維持・増進のために健康づくりを推進するとともに、必要な時に必要な医療を受けられる制度を持続していくために、国民健康保険及び後期高齢者医療の財政の健全化を図り、効率的な運営を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	経営 改革 プラン	国民健康保険 財政の健全化	国民健康保険財政の健全化のため、以下の取り組みを行います。 ①国民健康保険財政の健全化に向けて「第7期町田市国民健康保険事業財政改革計画」を策定します。 ②第6期町田市国民健康保険事業財政改革計画に基づき、「保険給付の適正化」、「医療費適正化の推進」、「保険税の徴収の適正な実施」等に取り組みます。また、一般会計からの赤字補てん額は14.7億円までの減少を目指します。 ③2027年度予算においては、一般会計からの赤字補てん額が13.3億円となるよう保険税率を見直します。	①第7期町田市国民健康保険事業財政改革計画の策定 ②保険税率改定後の一般会計からの赤字補てん額 ③保険税率の見直し	①策定完了 ②14.7億円 ③見直し完了								
2	個別 計画	被保険者の健康の維持・増進	①「第3期データヘルス計画(生活習慣病等予防事業実施計画)」の中間見直しを行います。 ②第3期データヘルス計画をもとに、糖尿病性腎症重症化予防のための面談指導及び電話指導を実施します。指導の実施にあたっては、かかりつけ医と連携を図った上で効果的に推進します。	①第3期データヘルス計画の中間見直し ②参加者の糖尿病に関する検査値の維持改善率	①中間見直し完了 ②75%								
3	個別 計画 / 全 策庁で 取り 組む 施策	市民満足度の向上/「シティプロモーション」に関する取組	①窓口対応の市民満足度を向上させるため、職員の接遇のレベルアップを図る研修を実施します。 ②オンライン手続きにおける市民の利便性をより一層向上させるため、申請フォームの見直し等を実施します。 ③HPの見直しやプッシュ型での周知を効果的にを行い、市民の方にわかりやすく周知します。	①窓口対応の市民満足度調査結果 ②オンライン手続きのアンケート結果 ③情報発信内容の見直し件数	①窓口対応の満足度90%以上 ②オンライン手続きの市民満足度4以上(5段階) ③10件								
4	人材 育成 / 事務 事業 見直し	ワーク・ライフ・バランスの推進のための業務の効率化(「改革・改善志向」)/事務事業見直し	業務効率化の取組として、新たに次の2件に取り組みます。 ①年3期に分けて発送していた健診受診券を一斉発送とすることで、受診券の再発行件数を減少させ、業務効率化を図ります。 ②市民向けの案内チラシ・発送物を、よりわかりやすい内容に見直します。	①受診券の一斉発送 ②見直し件数	①実施 ②5件								

部課名		いきいき生活部高齢者支援課											
課の使命		高齢者が、住み慣れた地域で必要な支援を受けながら安心して暮らすことができ、社会参加や介護予防に取り組みやすい環境づくりを、地域の関係者と連携して行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	個 別 計 画	「(仮称)見守り手帳」の検討	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと生活続けるために、健康を見守る新たな仕組みである、「(仮称)見守り手帳」の導入に向けた検討を進めます。	「(仮称)見守り手帳」の導入に向けた検討	検討完了								
2	重 点 事 業 プ ラ ン	介護予防自主グループ活動の支援・充実	①町トレやその他の運動、趣味活動等の介護予防活動に取り組む自主グループの立ち上げ支援を行います。 ②自主グループの活動に参加する方の健康状態や介護保険要介護認定状況の維持・改善を図るため、以下の3つの支援を行います。 ・「町トレ」を行う自主グループに対し、リハビリテーション専門職が実技指導や体力測定などを行います。 ・介護予防活動を行う自主グループを対象として、栄養学習や口腔体操などの介護予防に役立つメニューを提供します。 ・自主グループ活動の活性化を目的として自主グループ交流会を実施します。	①自主グループ団体数(町トレ含む累計) ②自主グループ参加者の健康状態や介護保険要介護認定状況が、前年度と比べて維持又は改善した割合	①636団体 ②90%以上								
3	重 点 事 業 プ ラ ン	「認知症とともに生きるまちづくり」の推進	認知症とともに生きるまちづくりを推進するため、認知症の人、地域団体、企業、認知症サポーター、専門職等を参加者とした「まちづくりワークショップ」を実施する。	まちづくりワークショップの参加者数	100人								
4	重 点 事 業 プ ラ ン	認知症の人の社会参加促進	「認知症とともに生きるまち」を目指し、認知症の人の社会参加の機会を創出するため、認知症の人と認知症サポーターなどの地域の方が共にチームとなり、認知症の人のやりたいことの実現に向けたフォローアップを実施します。また、この活動を広く周知し、認知症に対する市民の理解を深めます。	社会参加のためのチーム活動支援件数	2件								
5	個 別 計 画	フレイル予防の推進	①高齢者のフレイル予防に関する意識を高めることを目的にフレイルチェック会を開催し、フレイル予防に必要な取り組みにつながるよう促します。 ②ヒアリングフレイル対策として、加齢性難聴の早期発見・早期受診につなげるための啓発活動に取り組みます。 また、ヒアリングフレイル対策として一連のサイクルの中で、補聴器助成を受けた方に対し、介護予防活動への参加を促すとともに、より効果的な取組を検討します。	①フレイルチェック会参加者数 ②フレイルチェック会参加者のうち、ヒアリングフレイルに関心を持った方の割合	①100人 ②90%以上								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
6	個別 計画	医療・介護連携の推進	高齢者が在宅で療養を続けるためには、医療や介護など多職種の連携が必要となります。そのため、多職種連携に必要な技能・知識習得に向けた専門職を対象とした研修会を開催します。また、在宅療養に係る知識や、町田市との取組について理解を深めてもらうため、市民を対象とした研修会を開催します。	多職種連携研修会の開催数	2回								
7	個別 計画	生活支援団体の活動の推進	高齢者等を対象に生活支援を実施している団体で構成される「生活支援団体ネットワーク」に対して、団体間の情報共有や意見交換を行う連絡会を開催し、活動の充実・活性化を図ります。また、新たに活動を始めようとする団体の立ち上げの支援を行います。	生活支援団体ネットワーク登録団体数	19団体								
8	事業 事業 見直し	高齢者支援センター等事業評価の運用の検証・見直し	2025年度に取りまとめた高齢者支援センター等事業評価の新たな方針に沿って、事業評価を適切に実施します。併せて、実施結果から課題を整理し、次年度以降の運用の見直しにつなげます。	事業評価の運用の検証・見直し	検証・見直しの完了								
9	人材 育成	「改革・改善志向」	高齢者人口が増加し、高齢者やその家族等の課題やニーズは多様化しています。これらに適切に対応していけるよう、既存業務の効率化に向けた見直し・改善を行います。	見直し・改善の実施件数	3件								
10	全庁 で取 組む 施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	業務における電子媒体活用の促進や、紙媒体の配布物の精査等を通じて、紙の使用量を削減します。	紙印刷(複合機・事務機)の削減率	15%削減 (2024年度比)								

部課名		いきいき生活部高齢者支援課 高齢者総合相談担当											
課の使命		高齢者とその家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、高齢者支援センター等の相談支援機関や介護サービス事業者等と連携して必要な支援や権利擁護に取り組みます。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	事務 事業 見直し	高齢者住宅管理運営事業の見直し	高齢者住宅管理運営事業の効率化を図るため、市営住宅条例に基づく使用料算定や納付管理、入居者募集等について、住宅課と連携し同課の業務に集約します。	事業の見直し	実施								
2	事務 事業 見直し	ケースワーク業務の効率化	電話による市と高齢者支援センター間のケースワーク業務の情報共有について、正確性の向上と効率化を図るため、オンラインシステムの効果的な活用を検討します。現在の1センターに加え、新たに2センターと試行し、全センターとの本格運用に向けた準備を進めます。	①試行 ②本格運用準備	①試行(3センター) ②準備実施								
3	人材 育成	「チームワーク志向」	高齢者やその家族への適切な支援の実現及び職員が抱える負担の分散を図るため、虐待や支援拒否等により対応が困難なケースワーク事案について、適宜、圏域担当者のみでなく、全員で共有し、課題解決のためのアプローチ等を検討することで、組織的対応力を強化します。	対応困難事案の共有・検討	実施								
4	全庁で 取り組む 施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	事務手続きや打ち合わせにおいて、ノートPC等を活用して紙を削減する等、環境に配慮した取組を実施します。	紙印刷(複合機・事務機)の削減率	15%削減 (2024年度比)								

部課名		いきいき生活部介護保険課											
課の使命		介護保険制度をわかりやすく周知するとともに、「町田市いきいき長寿プラン24-26」の取り組みを着実に実施し、安定した事業運営を図ります。 介護サービス事業者が良質なサービスを提供できるよう必要な支援や助言を行い、市民がいつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられることを目指します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	その他	「第10期町田市介護保険事業計画」の策定	2025年度の市民ニーズ調査・事業所調査の結果等を踏まえ、適正に介護給付費および介護保険料を算定し、「第10期町田市介護保険事業計画」を策定します。	計画の策定	策定完了								
2	個別計画	介護保険制度の周知	介護が必要になったときに速やかに介護サービスを利用できるよう、介護保険制度について「介護保険のしおり」やホームページを通して広く市民へ周知し、制度への理解促進を図ります。ホームページについては、市民の方が見やすく、わかりやすい言葉遣いや表現に見直していきます。	市民へ向けた周知の取り組み件数	4件								
3	個別計画・事務事業見直し	デジタル技術を活用した介護認定事務の効率化	市全体の認定調査のうち、市職員による調査は認定調査タブレットの導入により電子伝送化が完了しています。外部の介護サービス事業者への委託分についても、認定調査票を電子伝送化する件数の増加を目指します。	認定調査票を電子伝送化した比率(外部介護サービス事業者への委託分)	75%								
4	個別計画・事務事業見直し	良質な介護サービスの提供の促進	市内特別養護老人ホームのうち、入所者の要介護度の改善につながったサービスを提供した施設に対して奨励金を交付することで、良質な介護サービスの提供を促進し、入所者の要介護度改善者数の増加を目指します。	市内特別養護老人ホーム入所者で要介護度が改善した人数	150人								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
5	個別 計画	介護サービスの適正化	①認定調査の質の向上と平準化を図るため、新任研修と現任研修を開催します。 ②必要な介護サービスが過不足なく受けられるよう、ケアプランの内容の点検を行います。 ③住宅改修や福祉用具を使用する際に、利用者にとって適切なアドバイスをを行う専門職を派遣します。 ④事業者からの請求がルールに即しているか、定期的に点検します。	①認定調査員への研修回数 ②ケアプラン点検件数 ③住宅改修・福祉用具アドバイザーの派遣件数 ④介護報酬請求の点検件数	①5回 ②132件 ③210件 ④12回								
6	個別 計画	指定申請等に関する介護サービス事業者の文書負担軽減	事業者が市から「介護サービス事業者」としての指定を受けるための申請について、電子申請・届出システムの活用を推進することで、文書の作成や届出の負担を軽減します。	介護サービス事業者指定等に係る申請等のうち、電子申請の比率	60%								
7	全庁で 取り組む 施策	「ゼロカーボンシティまちだ」	紙資料の電子化に取り組み、紙使用量の削減を図ります。	削減割合	2025年度比5%削減								
8	人材 育成	「市民志向」	市民に対し職員全員がいつでも介護保険制度を分かりやすく詳細に説明できるよう、業務知識を深めて専門性を高めます。	①課内業務の相互理解に向けた研修開催回数 ②課内研修を受講して介護保険制度の業務知識が深まったと思う職員の割合	①2回 ②100%								